

群馬銀行グループの取組み

群馬銀行グループは連結子会社6社、持分法適用子会社2社および持分法適用関連会社1社で構成され、銀行業を中心に幅広い金融商品・サービスを提供しています。パーパス実現を目指し、グループ総合力の発揮による新事業の探索と既存事業の深掘りに取り組んでいます。ここでは5社の取組みを紹介します。(ぐんぎん証券についてはP37)

ぐんぎんコンサルティング株式会社

ぐんぎんコンサルティングは、「地域に根差し、お客さまの成長を支援する事業戦略パートナー」として、銀行本体だけでは対応できない、より専門性の高いコンサルティングや課題解決の提案・実行支援などの提供に取り組んでいます。事業承継支援を切り口に課題解決に向けた最適なコンサルティングの提案、群馬銀行およびぐんま地域共

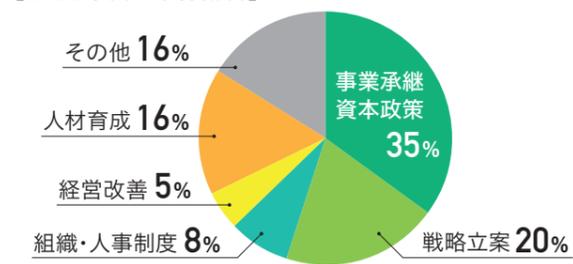
創パートナーズと連携した本業支援などを行っています。金融庁から「他業銀行業高度化等会社」の認可を受け、2023年4月には「人材ソリューション部」と「地域商社事業部」を新設し、事業領域を拡大しました。今後も、お客さまの課題解決や成長に資するソリューションを提供し、地域活性化に貢献していきます。

これまでのコンサルティング取組実績 (2018年10月～2023年3月)

【案件受託数の推移】(単位:件)



【2022年度の案件割合】



グループの法人向け非金融事業の中核として事業領域を拡大

代表取締役社長 天田 将

一事業内容を教えてください。

「コンサルティング事業」では、事業承継や経営戦略の立案、組織・人事制度構築、人材育成・研修などを中心としたコンサルティングサービスを提供し、開業以来順調に案件受託数を伸ばしてきました。

新事業の「人材ソリューション事業」では、これまで銀行本体で取扱っていた人材紹介業務を当社に移管するにあわせ態勢を強化し、新たな人材を求める地域企業と地域で活躍したい人材をつないでいきたいと考えています。

もう一つの新事業である「地域商社、マーケティング・広告事業」では、地域発の新たな事業・商材の開発や販路拡大を図るため、購入型クラウドファンディングやECサイトの運営、デジタルマーケティング・広告に関するコンサルティングを順次展開しています。

一ぐんぎんコンサルティングが新事業に取り組む意義を教えてください。

事業領域の拡大は、当社の「第二創業」と捉えて

新事業について発表した記者会見にて(2023年3月)

います。コンサルティングを行うなかで、「経営幹部などの人材が不足している」、「マーケティングのノウハウがない」といった経営課題が挙げられるケースも多く、新事業と既存のコンサルティング事業は、親和性がとても高いと認識しています。新事業に取り組むことで、提供できるソリューションの幅が広がりましたので、お客さまの経営課題の解決に、これまで以上に貢献していきたいと考えています。

一今後の抱負を教えてください。

当社は、群馬銀行グループの法人向け非金融事業の中核と位置付けられています。群馬銀行グループのネットワークやリソースを最大限活用するとともに、新たな事業と既存のコンサルティング事業で相互にシナジーを発揮することで、地域企業の成長や持続可能な地域経済の発展につなげていきます。



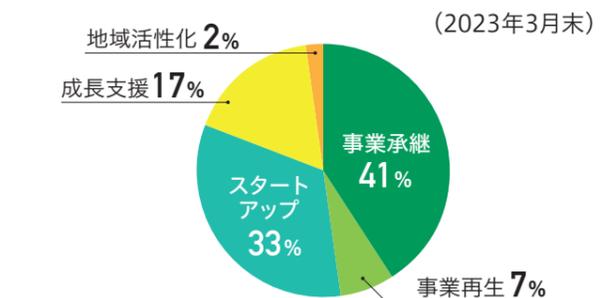
グループ一体で既存の事業領域にとどまらない価値を提供し、地域の未来に貢献していきます

ぐんま地域共創パートナーズ株式会社

ぐんま地域共創パートナーズ(以下 GRASP)は、出資とハンズオンによる経営支援を通じて、地域経済の活性化に資する新規事業の創出や次世代への円滑な事業承継に取り組んでいます。また、地域に不可欠な事業においては競争力の強化を促し、事業価値の向上を図るほか、観光地等の面的な活性化や地産地消エネルギーの普及に

よる循環型社会の構築、地域の企業が共通して抱える採用・人材育成の悩みに応えていく仕組みづくりなどにも取り組んでいます。「人びとと共に手と手を取りあい、より豊かで暮らしやすい地域社会を創る」をコンセプトに地域の人・組織・情報などを結びつけてワクワクを生み出していく地域創りプロデューサーを目指しています。

投資テーマ別の状況 (2023年3月末)



事業承継支援の事例

- 株式会社 JOETSU (群馬県前橋市) への支援
- 群馬銀行が100%出資する GRASP が、運営するファンドを通じ、株式会社 JOETSU の全株式を取得。
 - 同社はデジタルメディアとプリントメディアを統合したソリューション事業を展開。
 - GRASP が同社の企業価値向上、安定的な株式承継を支援。さらに、同社、GRASP、ぐんぎんコンサルティングが連携し、地域企業のデータ活用、デジタルマーケティングの促進など地域のデジタル化にも貢献。



地域連携のハブとしての役割を果たし、地域全体の価値向上を目指す

代表取締役社長 鏡山 英男

一出資領域を教えてください。

企業のステージ(事業拡大や事業承継、事業再生など)や事業課題に合わせた出資を行っています。また、再エネ電源の開発・普及を目的とした地域発電会社も設立いたしました。このような地域の課題解決に向けた取組みにも力を入れています。当社は群馬銀行の100%出資子会社ですが、社名に「ぐんま地域」とあるように、出資先は群馬銀行のお客さまに限定せず、幅広く対応しています。

一 GRASP の特徴を教えてください。

当社の事業目的は出資を通じて地域がより良くなることを目指しています。投資会社ではありませんが、自社の利益、つまり、リターンの最大化のみを追求するわけではないと考えていません。出資とハンズオンを通じた伴走支援により、事業価値を高め、その企業の取引先や従業員、地域の方々なども含め、地域全体の価値をどれだけ高められるかが重要だと考えています。これが地域に根差したファンドである当社の役割だと思っています。

一出資先の企業価値をどのように高めていくのでしょうか?

当社は、自らを地域連携のハブ機能と位置付けています。出資先の経営課題はさまざまです。当社だけで解決できない経営課題も多々ありますので、出資先同士の連携だけでなく、群馬銀行のネットワークや各種専門機関やコンサルタント、大学や行政機関などを有機的に結び付け、出資先の企業価値向上を図っています。各分野に精通した専門家の知見やノウハウをつなぎ合わせることで、地域の活性化にもつながっていくと考えています。

一今後の抱負をお聞かせください。

当社は皆さんの事業、さらには地域社会を共に創るパートナーになりたいと考えています。地域活性化・課題解決は、単独での取組みでは限界があり、協働、共創、プラットフォーム化など新たな枠組みが必要です。ぜひ、当社と一緒に地域のロールモデルとなる取組みを作りましょう。

1 群馬銀行について

2 パーパスを実現するための戦略

3 パーパスの実現を支える経営基盤

株式会社群銀カード

地域のデジタルエコシステム構築を目指す

群銀カードは、クレジットカード業務において質の高いサービスを提供することでお客様の信頼にお応えするとともに、業務の適正な運営と健全な業績の伸長を通じて社会・経済の発展に貢献することを目指しています。

社会のキャッシュレス化が急激に進むなか、決済に対するニーズも多様化・高度化しています。当社は地域全体の支払・決済をデジタルの力でつなぎ、持続可能な地域のデジタルエコシステム構築を図るべく、銀行と連携し推進を行っています。

地域の店舗や事業所、クリニックなどへのマルチ決済端末の普及による群銀カード加盟店の拡大と、クレジットカード会員拡大を図り、「どこでも」キャッシュレス決済可能な地域づくりと、「だれでも」キャッシュレス決済が利用できる環境を目指します。

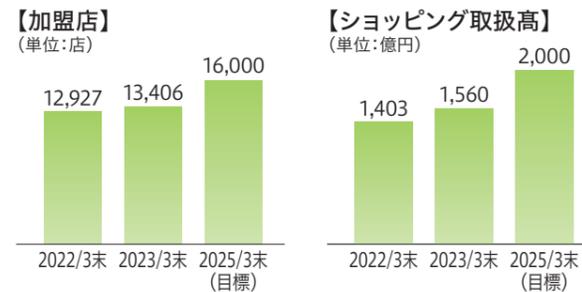


群銀カード本社(前橋市)

銀行と連携しキャッシュレス化を推進

2022年4月、銀行本体のクレジットカード会員事業を承継し、体制を強化しました。加盟店開拓においては、銀行と連携し、新規開業先および未加盟の取引先への提案を行っています。

2023年3月末時点で当行グループの取引先における加盟店は約1万3,400店、ショッピング取扱高は約1,560億円となっています。今後も地域のキャッシュレス化推進に向けて、加盟店増強に取組んでまいります。



ぐんぎんリース株式会社

リース業務全般を通して多様な付加価値を提供

ぐんぎんリースは本社(前橋市)のほか、5拠点(伊勢崎市、太田市、熊谷市、さいたま市、宇都宮市)を置き、リースの仕組みを通じて、多様な付加価値を提供しています。

主な業務内容は、リース業務全般です。リース対象物件は、車両から産業・工作機械、事務用機器、商業設備機器、医療機器などで、幅広く取扱いをしています。設備導入時の初期費用軽減や資金の有効活用、事務管理の省力化・コスト削減等のご提案を通じて、取引先の支援を行っています。

また、社内のリース営業のノウハウを群馬銀行グループ内で最大限活かすため、社員を群馬銀行に出向させるなど、銀行と一体となった提案も取引先に行っています。



ぐんぎんリース本社(前橋市)

ぐんぎんシステムサービス株式会社

地域・お客さま・行内のデジタル化を支援

ぐんぎんシステムサービスは、グループのシステム会社として、「つなぐ・つむぐ」の基盤となるデジタル戦略において重要な役割を担っています。

地域のデジタル化では、実際にお客さまのもとに出向いてパソコンやシステムの各種設定や操作などのサポートを行っています。また、お客さま接点のデジタル化では、群馬銀行とシステム開発を手掛けるとともに、運用面のサポートも行っています。行内業務のデジタル化では、システム会社としての知見とノウハウを銀行に提供し、各種ペーパーレス化や定型業務の自動化などの企画・運営を銀行とともにしています。

また、群馬銀行コンサルティング営業部に出向する社員が窓口となり、取引先のDX支援に取組んでいます。



ぐんぎんシステムサービス本社(前橋市)

群馬銀行グループ会社一覧

会社名	関係
群馬中央興業株式会社	連・子
設立日	1971年2月24日
所在地	群馬県前橋市元総社町226
主要業務内容	物品等輸送、現金自動設備の保守管理業務等
資本金	10百万円
当行グループによる議決権所有割合	100.00%
当行所有	100.00% 子会社等所有分 ー
ぐんぎんコンサルティング株式会社	連・子
設立日	2018年4月18日
所在地	群馬県前橋市元総社町194
主要業務内容	コンサルティング、人材ソリューション、地域商社、マーケティング・広告事業
資本金	100百万円
当行グループによる議決権所有割合	100.00%
当行所有	100.00% 子会社等所有分 ー
ぐんぎんリース株式会社	連・子
設立日	1973年10月1日
所在地	群馬県前橋市元総社町171-1
主要業務内容	リース業務
資本金	180百万円
当行グループによる議決権所有割合	100.00%
当行所有	50.00% 子会社等所有分 50.00%
株式会社群銀カード	持・子
設立日	1982年3月12日
所在地	群馬県前橋市元総社町194
主要業務内容	クレジット業務
資本金	30百万円
当行グループによる議決権所有割合	66.67%
当行所有	42.14% 子会社等所有分 24.53%
スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社	持・関
設立日	2014年11月25日
所在地	神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1
主要業務内容	投資信託委託業務
資本金	300百万円
当行グループによる議決権所有割合	15.00%
当行所有	15.00% 子会社等所有分 ー
ぐんぎん証券株式会社	連・子
設立日	2016年2月12日
所在地	群馬県前橋市本町2-2-11
主要業務内容	証券業務
資本金	3,000百万円
当行グループによる議決権所有割合	100.00%
当行所有	100.00% 子会社等所有分 ー
ぐんま地域共創パートナーズ株式会社	連・子
設立日	2020年12月25日
所在地	群馬県前橋市元総社町194
主要業務内容	ファンドの組成・運営
資本金	100百万円
当行グループによる議決権所有割合	100.00%
当行所有	100.00% 子会社等所有分 ー
群馬信用保証株式会社	連・子
設立日	1983年9月28日
所在地	群馬県前橋市元総社町194
主要業務内容	保証業務
資本金	30百万円
当行グループによる議決権所有割合	100.00%
当行所有	45.45% 子会社等所有分 54.54%
ぐんぎんシステムサービス株式会社	持・子
設立日	1986年7月26日
所在地	群馬県前橋市元総社町171-1
主要業務内容	システムの開発・販売
資本金	30百万円
当行グループによる議決権所有割合	75.00%
当行所有	20.00% 子会社等所有分 55.00%

※1 連・子(連結子会社)、持・子(持分法適用子会社)
持・関(持分法適用関連会社)
※2 議決権所有割合は小数点以下第3位を切り捨てて表示。